



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第 439 号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川 1-1-15 ヴィラセーユー稲川 207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／羽切 政仁 編集責任者／高橋 詩帆 発行日／2026 年 10 月 1 日

10 月号の内容



- ◆ 「輸血療法実践ガイド」の再周知について P1
- ◆ メディメッセージ 2026 開催報告 P2-3
- ◆ めまづケア Expo2026 開催報告 P4
- ◆ 会員投稿 P5
- ◆ 研修会参加申し込み時のアドレス登録設定について P6
- ◆ 臨床検査関連研修会 P7-21
- ◆ 行事予定 P22

「輸血療法実践ガイド」の再周知について

厚生労働省医薬局血液対策課より、「血液製剤の使用指針」、「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤保管管理マニュアル」の廃止並びに「輸血療法実践ガイド」の周知について（令和 8 年 3 月 24 日付け医薬発 0324 第 2 号厚生労働省医薬局長通知）に記載のとおり、これまで示してきた指針及びマニュアルの内容を整理し、統合した「輸血療法実践ガイド」が作成され、一般社団法人日本輸血・細胞治療学会により公表されました。

薬事審議会血液事業部会令和 8 年度第 1 回適正使用調査会（令和 8 年 7 月 29 日開催）において、「輸血療法実践ガイド」の医療現場等への周知徹底に関する課題について御意見が示されたことを踏まえ、改めて周知への御協力をお願いすることとなりました。

● 輸血療法実践ガイド <https://yuketsu.jstmct.or.jp/wp-content/uploads/2026/09/c94fb40adf823eac4fe9feb13f6d6c60.pdf>

● 一般社団法人日本輸血・細胞治療学会 HP（指針／ガイドライン）
<https://yuketsu.jstmct.or.jp/guidelines/>

「輸血療法実践ガイド」

令和 8 年 2 月

日本輸血・細胞治療学会 ガイドライン委員会

メディメッセージ 2026 開催報告

2026年9月12日（土）・13日（日）、アクトシティ浜松・展示イベントホールにてメディメッセージ2026が開催されました。超音波検査の体験、血液像や病理標本の鏡検、血球算定機器のデモ機展示に加え、マイクロピペットの体験や、白衣を着用した「なりきり臨床検査技師」コーナーを設置して、臨床検査技師の仕事をアピールし、興味を示していただけたと感じました。2日間で多くの来場があり来場者とスタッフの笑顔が見られ大盛況を収めてまいりました。未来の臨床検査技師になるかもしれない多くの中高生に興味を持って見入って頂けたことはとても喜ばしいことでした。今後も会員の皆様にはさまざまな場面で、お力をお借りすることがあるかと思いますが、静臨技活動にご協力をお願い致します。





ぬまづケア Expo2026 開催報告

2026年9月13日（日）10時から15時に、プラサヴェルデにて開催された『ぬまづケア Expo2026』へ、臨床検査技師の啓発活動の一環として東部支部が参加いたしました。

沼津市役所健康づくり課のブースにて、行政・職能団体による啓発・地域包括ケア等の紹介の一環として、乳がんファントムを用いた超音波検査の操作体験や、顕微鏡による末梢血の観察を実施しました。

同ブース全体の体験者が400名のうち、静臨技が担当した顕微鏡・超音波の体験者は延べ140名ほどにのびりました。

今回、これらの体験を通して、多くの方々が臨床検査技師という職業を知っていただくとともに、これから進路を考える学生の皆さんにとって、将来の職業選択の一助となれば幸いです。



秋の味覚

聖隷沼津病院 白石 歩美

皆さんは、「秋」といえば何を思い浮かべますか？

読書の秋、スポーツの秋など、さまざまなものがありますが、私自身は「食欲の秋」です。

美味しい味覚がたくさんあるなかでも私が一番好きなのは、さつまいもです。

さつまいもの魅力を皆さんにお伝えしたいと思った一方で、よく考えてみるとさつまいものことをあまり知らないことに気が付きました。

そこで、今回はさつまいもについて少し調べてみたことを紹介します。

さつまいもには大きく分けて、ねっとり系の「紅はるか」、しっとり系の「シルクスイート」、ホクホク系の「紅あずま」など、さまざまな品種があります。

普段あまり意識せずに食べていましたが、自然と、ねっとり系とホクホク系のさつまいもを好んで食べているなあと実感しました。ねっとり系は干し芋に、ホクホク系は大学芋や天ぷらにするのがおすすめです。

また、某回転寿司屋さんの大学芋は、芋の周りにカリッとした飴がしっかりとコーティングされていてとてもおいしいためおすすめです。

ここまで読んで、「いろいろな種類のさつまいもが食べたくなってきた！」という方に朗報です。

今年も「やきいもフェス TOKYO 2026」が開催されます。

中野区で開催される予定で、私自身も昨年参加しました。美味しいさつまいもがたくさん味わえるだけでなく、芋をテーマにしたガチャガチャや写真映えするスポットなどもあり、とても楽しいイベントです。

さつまいも好きの方はもちろん、普段あまり食べる機会がない方も、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか？



(注意喚起)

研修会参加申し込み時のアドレス登録設定について

研修会参加申し込みを行う際、
携帯通信事業者（キャリア）が提供するアドレスを連絡先アドレスとして使用した場合、容量の大きい講義資料や Web 招待メールが配信されない恐れがあります。

(推奨されないアドレス)

- docomo → @docomo.ne.jp
- au → @ezweb.ne.jp、au.com
- SoftBank → @softbank.ne.jp、@i.softbank.jp 等

(理由)

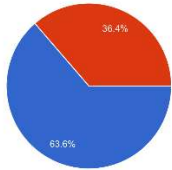
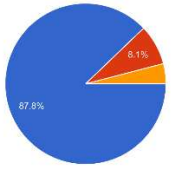
- フィルタが強い、URL 付きメールは弾かれる、受信許可設定が未登録

(対策)

- 別メールを使用する（推奨） → ◎Gmail、Outlook、Yahoo メールを使用する

過去に研修会参加申し込みをおこなっているのにも関わらず、それに関連する情報が配信されてこなかった等、お心当たりのある方はこの機会に見直しを行って頂くことをお勧めします。

研修会終了報告

事業名	令和 8 年度 第 2 回臨床生理部門ハイブリッド型研修会
開催日	2026 年 8 月 29 日
会 場	静岡県産業経済会館＋Web 会場（Zoom）
参加人数	91 名
内 容	1.研修会のテーマ、ねらい、目的 中級者がさらなるステップアップを目指すために「なんとなくの判読」から「機序に基づいた確信のある判読」への転換を目指した一歩踏みこんだスキルを取得する 2.講演タイトル、講師名 一歩踏み込む心電図判読 静岡県立静岡病院循環器内科科長 川人充知 先生 3.講演、研修会の内容 心電図の基本的な知識から一歩踏み込んだ応用的な読影方法について解説された。 電気軸と時間軸を用いたベクトル心電図的な考え方を導入し、正常な波形との比較を通じて右脚ブロックや左脚前肢ブロックなどの各種伝導障害の特徴を解説された。さらに、「Pseudo-supernormal conduction」や「Ashman 現象」といった中級者向けの臨床的なケーススタディをクイズ形式で多数紹介された。 4.質疑や会の様子など 当日は 91 人が参加しました。（現地参加 21 人） 本研修会の内容について 77 件の回答  参加費について 74 件の回答  

研修会終了報告

事業名	令和 8 年度 第 1 回臨床一般部門ハイブリット型研修会
開催日	2026 年 8 月 29 日
会 場	あざれあ特別会議室+Web 会場 (Zoom)
参加人数	44 名
内 容	1.研修会のテーマ、ねらい、目的 普段穿刺液細胞の判断に苦慮している方や、穿刺液の知識を深めたい方向けの研修会を行い穿刺液、体腔液の成分、細胞分類を見分ける力量を習得する。 2.講演タイトル、講師名 きっとわかる！穿刺液細胞の見方・考え方 国立病院機構 舞鶴医療センター 佐伯 仁志 技師 3.講演、研修会の内容 総論として初めに穿刺液、体腔液の発生メカニズム（浸出液、漏出液について）を解説していただいた。講義の中心となった内容は穿刺液、体腔液内に認められる細胞成分が正常細胞か異型細胞かを分類するための要点をデジタルスライドを用いながら解説していただいた。 細胞成分をできるだけ濃縮することで観察しやすい標本作製するテクニック「極上の一滴」を学んだ。 4.質疑や会の様子など 異型細胞の臨床への報告はどの程度詳しく連絡するかを共有した。 WEB の参加者はチャットで、現地は挙手で直接質問できる仕組みと時間を設けたため、活発な質疑応答の時間となった。  

研修会終了報告

事業名	令和 8 年度 第 1 回病理・細胞部門 Web 型研修会
開催日	2026 年 8 月 29 日
会 場	Web 会場 (Zoom)
参加人数	123 名
内 容	1.研修会のテーマ、ねらい、目的 「病理検査室の医療安全を学ぼう」をテーマに、切り出し作業時の安全管理、ヒューマンエラー対策と化学物質管理、報告書管理体制加算と報告書未読の原因・分析を中心とした研修会を実施した。 2.講演タイトル、講師名 【講演 1】「切り出し作業時の安全管理～取り違え防止対策、感染防止策、微小検体の取り扱い方～」 講師：藤枝市立総合病院病理診断科 伊藤 以知郎 先生 【講演 2】「病理検査における医療安全～ヒューマンエラーと化学物質管理～」 講師：慶應義塾大学医学部病理学教室 鈴木 美那子 技師 【講演 3】「病理の医療安全～正しい検査から患者に正確に報告が伝わる為に～」 講師：聖マリアンナ医科大学病院病理診断科 島田 直樹 技師 3.講演、研修会の内容 【講演 1】では、切り出し作業における切創・針刺し防止のための手技や環境整備、感染性検体を扱う際のバイオハザード対策、検体取り違え防止の確認手順や器具管理の工夫について実例を交えて解説された。 【講演 2】では、ヒューマンエラーの要因と対策、TeamSTEPPS によるチームでの安全補強、レジリエンスエンジニアリングを意識した安全教育の重要性、さらに化学物質のリスクアセスメントの進め方を学んだ。 【講演 3】では、報告書管理体制加算の仕組みと運用、報告書未読の原因分析と対策、未読・既読管理の実際や事例からの問題点と改善策について紹介された。 4.質疑や会の様子など 当日は県内外から 123 名が参加し、積極的な質疑が行われた。各講演後には多くの質問が寄せられ、病理分野における医療安全への高い関心がうかがえた。参加者同士が現場の課題や改善策を共有する有意義な研修会となった。

令和8年度 第2回 生物化学分析部門 Web 型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260012663】

テーマ	臨床検査技師/肝炎医療コーディネーターの役割と活動を知ろう！考えよう！！
開催日時	2026 年 11 月 14 日（土） 13 時 30 分 ～ 16 時 00 分
会 場	Web 会場（Zoom）
内 容	【総司会】 静岡県立総合病院 検査技術室 村越 大輝 技師 / 青地 祐 技師 【オープニング】 静岡県における肝炎対策について 静岡県健康福祉部医療局疾病対策課 様 【セッションⅠ】 県内における肝炎ウイルス検査結果の適切な運用と受診勧奨の促進について 「HCV 抗体陽性、高力価を確認したらどうする？ -臨床検査技師/肝炎医療コーディネーターとしての 1 からの取り組み-」 伊東市民病院 検査室 技師長補佐 静岡県肝炎医療コーディネーター 兼田 明仁 技師 「当院の肝炎ウイルス対策 -どの部署と、どう連携し、取り組んでいくか？はじめての一步を踏み出す為 に-」 富士市立中央病院 検査室 技師長 渡邊 広明 技師 【セッションⅡ】 県外における肝炎ウイルス検査結果の適切な運用と受診勧奨の促進について 「ウイルス未治療者対策における当院の検査技師の取り組みと抗原・抗体同時測定における比較検証」 山梨県臨床検査技師会 学術部長 山梨県立中央病院 検査課 主任 杉浦 弘樹 技師 「豊田厚生病院における B 型肝炎・C 型肝炎 拾い上げ～RPA を活用した受診勧奨とデノボ肝炎対策～」 愛知県臨床検査技師会 一般検査副班長 豊田厚生病院 臨床検査室 伊藤 彰洋 技師
備考	開始時刻 5 分前には Web 招待メール本文中の URL よりご参加ください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。
申込・振込 期間	2026 年 9 月 1 日 ～ 2026 年 11 月 10 日
申込定員	180 名
申込方法	1) メネルジアにログインし新規登録を行って下さい。 ※ 操作法については静臨技 HP をご参照ください。 2) 下記イベント URL から参加申し込みを行って下さい。 3) 受講料の入金確認後、Web 参加の方へ Web 招待メールを送信します。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベント URL	https://event.menergia.jp/events/01M0J9T8ESZRE814VRYB9NXYGR
受講料	静臨技会員・日臨技会員 500 円／賛助会員 500 円／非会員 1,000 円
問い合わせ先	生物化学分析部門 部門長 青地 祐 （静岡県立総合病院） TEL：054-247-6111 E-mail：yuu.oishi.kensou.kensa@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後 1 ヶ月以内にご連絡ください。
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
共 催	アッヴィ合同会社

令和 8 年度 第 2 回 臨床微生物部門ハイブリッド型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260014913】

テーマ	各施設の検査における運用や工夫について
開催日時	2026 年 11 月 21 日（土） 14 時 00 分 ～ 17 時 00 分
会 場	静岡県産業経済会館＋Web 会場（Zoom）
内 容	日頃、ルーチン業務に従事する中で、「自施設の検査や運用について、これでよいのだろうか？」と悩んだり、他施設の取り組みが気になったりすることはありませんか？ 今回は、施設規模の異なる 3 施設から、それぞれの施設における検査や運用についてお話しいただきます。 他施設の取り組みを知ることで、日頃のルーチン業務を見直したり、今後の業務改善につなげたりするきっかけになれば幸いです。 また、研修会開催前に Google フォームを利用したアンケートを実施します。アンケートは匿名で実施し、皆さまからいただいたご意見を当日の講演やディスカッションに活用する予定です。 皆さまのご参加を心よりお待ちしております。 講師：静岡市立清水病院 池ヶ谷 佳寿子 技師 JA 静岡厚生連 静岡厚生病院 中村 和也 技師 静岡県立静岡がんセンター 新宮 歩 技師
備考	開始時刻 5 分前には Web 招待メール本文中の URL よりご参加ください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。
申込・振込期間	2026 年 10 月 1 日 ～ 2026 年 10 月 31 日
申込定員	336 名（現地参加：先着 36 名 Web 参加：300 名）
申込方法	1) 下記イベント URL から参加申し込みを行って下さい。 2) 受講料の入金確認後、Web 招待メールを送信します。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベント URL	https://event.menergia.jp/events/01M2JGW4TTF6XPX687EMNZCRDC
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000 円／賛助会員 1,000 円／非会員 2,000 円
問い合わせ先	臨床微生物部門 部門長 新宮 歩（静岡県立静岡がんセンター） TEL：055-989-5222(内線 2320) E-mail：a.shingu@scchr.jp ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後 1 ヶ月以内にご連絡ください。
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和 8 年度 第 3 回 臨床生理部門研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260012483】

テーマ	腹部超音波ハンズオンセミナー
開催日時	2026 年 11 月 22 日（日） 9 時 10 分 ～ 12 時 30 分
会 場	静岡県立総合病院 3D 会議室 3
内 容	過去 2 年間開催しておりました「心エコー図ハンズオンセミナー」に代わり、今年度は新たに「腹部超音波ハンズオンセミナー」を開催いたします。腹部エコーの基礎を学びたい方に向けた「初心者コース」と、より専門的な評価スキルを習得したい方に向けた「腎動脈コース」の 2 コースを同時開催いたします。 各コース装置 1 台の少人数制（各 5 名）のハンズオン形式で受講者全員にプローブをお持ちいただきます。今回の使用機器は富士フイルム社製 ARIETTA シリーズを予定しています。 ■初心者コース（肝・胆・膵・脾・腎） 5 名 ・対象：これから腹部エコーを始める方、始めて間もない方 ■腎動脈コース 5 名 ・対象：腎動脈エコーの初心者 左右の描出やドプラ波形の抽出に苦手意識のある方 講師：静岡済生会総合病院 堤坂祥子 技師 静岡県立総合病院 久住裕俊 技師
備考	実技講習会なので動きやすい服装でご参加ください。 今回の講習会は静臨技会員のみ参加可能です。
申込・振込期間	2026 年 10 月 12 日 ～ 2026 年 10 月 26 日
申込定員	10 名(各コース 5 名)
申込方法	下記イベント URL から参加申し込みを行って下さい。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベント URL	https://event.menergia.jp/events/01MOETN0AWH1QE64P0PM7C8X6D
受講料	静臨技会員・日臨技会員 5,000 円
問い合わせ先	臨床生理部門 部門長 鈴木駿輔（静岡県立総合病院） TEL：054-247-6111 E-mail：shun0719s@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後 1 ヶ月以内にご連絡ください。
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
協力	静岡県立総合病院

令和8年度 第3回 輸血細胞治療部門研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260012685】

テーマ	輸血検査や輸血療法に関する情報を取り入れよう！
開催日時	2026年12月19日（土） 13時30分 ～ 16時00分
会 場	静岡労政会館 視聴覚室
内 容	「クリオシールシステムのご紹介 ～患者様の自己血から調製する自己フィブリン糊について～」 旭化成メディカル株式会社 国内営業部 中日本チーム 平井 徹氏 「クリオシールシステム院内作製導入における体制構築と運用経験」 聖隷三方原病院 輸血管理室 石戸谷 典明技師 「緊急臨床検査士の輸血分野について」 焼津市立総合病院 中央検査科 北尾 時輝技師 ～休憩～ 「不安解消！日当直に役立つ輸血検査のお話」 アイ・エル・ジャパン株式会社 輸血・移植事業本部 マーケティング・学術部 八木 良仁氏 前半はクリオシールシステムについてと院内作製導入した施設が体制構築し運用開始した経験について、緊急臨床検査士受験に必要な輸血検査の知識と技術について講演します。後半は「不安解消！日当直に役立つ輸血検査のお話」のテーマで輸血検査で遭遇する予期しない反応への対応方法、正しい判定には患者情報が重要なこと、限られた試薬や設備でも原因究明できる場合があること、緊急時は迅速に輸血を行うことが重要であること等について講演します。今後認定輸血検査技師を目指す予定の方はもちろん、輸血検査業務に携わる方や、輸血検査に興味のある方など多くの参加をお待ちしております。
備考	
申込・振込期間	2026年10月1日 ～ 2026年11月30日
申込定員	60名
申込方法	下記イベント URL から参加申し込みを行ってください。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベント URL	https://event.menergia.jp/events/01MOKMBHNCFOJHH7RS7ZJ2W2BZ
受講料	静岡臨技会員・日臨技会員 1,000 円／賛助会員 1,000 円／非会員 2,000 円
問い合わせ先	輸血細胞治療部門 部門長 石戸谷 典明 （聖隷三方原病院） TEL：053-438-2172 E-mail：ishidoya@sis.seirei.or.jp
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和 8 年度 静岡県臨床検査精度管理調査報告会のご案内

2026 年 12 月 26 日（土）

ー ハイブリッド開催（現地+オンデマンド配信）ー

【参加申込方法】	日臨技 HP から事前参加登録
【参加費】	会員・賛助会員 1,000 円/非会員 2,000 円
【参加費振込先】	メネルジアシステムの指定口座
【参加申込期間】	2026 年 11 月 1 日(日) ～ 2026 年 12 月 18 日(金)
【参加費振込期間】	2026 年 11 月 1 日(日) ～ 2026 年 12 月 18 日(金)
【PW・URL 送信期間】	2026 年 12 月 21 日(月) ～ 2026 年 12 月 23 日(水)
【オンデマンド配信期間】	2027 年 1 月 18 日(月) ～ 2027 年 2 月 19 日(金)
【アンケート回答期間】	2027 年 1 月 18 日(月) ～ 2027 年 2 月 19 日(金)

～参加申込から視聴までの流れ～

1. 下記 URL からメネルジアシステムにアクセスし、事前参加登録をお願いします。
<https://event.menergia.jp/events/01KYCMDTPM8K9KTRGVR6KX3NN0>
※ 事前参加登録が困難な場合は下記事務局へご相談ください。
2. 事前参加登録後、メネルジアシステムの指示に従い参加費のお支払いをお願いします。
※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
3. 入金を確認後、メネルジアシステムに登録されているメールアドレスに、「Web 参加用 URL」、「オンデマンド視聴パスワード」と参加確認用のアンケート（Google フォーム URL）を 12 月 21 日(月)～12 月 23 日(水)の期間にお送りします。（現地参加の方へはアンケートは送付いたしません。）
入金後、12 月 24 日(木)までにメールが届かない場合は下記事務局へお問合せください。
※ 「Web 参加用 URL」の貸与、譲渡、売買の一切を禁止いたします。
4. 「オンデマンド視聴パスワード」を入力して、静臨技 HP (<https://www.samt.or.jp/>) に設置しました【報告会専用ページ】内にお入りいただき、各報告（動画ファイル）を視聴して下さい。
※ 視聴における撮影、録音、録画、その他複製行為を固く禁止します。

●生涯教育点数付与●

現地での参加者は当日の参加により参加確認をいたします。

オンデマンドでの参加者はアンケート回答期間内に参加確認用のアンケートにお答えください。アンケートへの回答をもって報告会への参加とさせていただきます。

後日、日臨技会員の方には生涯教育点数（基礎 20 点）を付与いたします。

＜静岡県臨床検査精度管理調査報告会事務局＞

担 当 ： 村越 大輝（静臨技学術部）

E-mail ： samtjim@samt.or.jp（静臨技事務所）

令和 8 年度 静岡県臨床検査精度管理調査報告会

挨拶	静岡県臨床検査精度管理委員会 委員長	田内 一民 先生
	静岡県医師会 理事	秋山 欣丈 先生
	静岡県臨床衛生検査技師会 会長	聖隷沼津病院 羽切 政仁 技師
臨床化学 免疫血清	① 総 括	JCHO 清水さくら病院 佐川 昂希 技師
	② 蛋白、ビリルビン、血糖、HbA1c	静岡県立総合病院 青地 祐 技師
	③ 電解質、含窒素系	聖隷沼津病院 澤口 諒 技師
	④ 酵素系	JA 静岡厚生連遠州病院 伊藤 宇史 技師
	⑤ 脂質系 免疫血清 CRP	静岡済生会総合病院 田中 隆慈 技師
	⑥ 免疫血清 IgG, IgA, IgM PSA	磐田市立総合病院 外波山 晶子 技師
	⑦ 免疫血清 TSH, Free-T3, Free-T4	順天堂大学医学部付属静岡病院 芦川 直輝 技師
	⑧ 感染症 HBs 抗原, HCV 抗体	富士市立中央病院 竹下 翔太 技師
	⑨ 講 評	浜松医科大学医学部 特命研究教授・名誉教授 前川 真人 先生
血 液	① 凝固検査	静岡県立総合病院 高山 拓也 技師
	② 血算検査	浜松医療センター 井口 稚菜 技師
	③ アンケート	静岡済生会総合病院 谷淵 将規 技師
	④ 血液像検査	NTT 東日本伊豆病院 田中 芳次 技師
	⑤ 講 評	磐田市立総合病院 血液内科 医長 岡 伸一郎 先生
微生物	① フォトサーベイ	富士市立中央病院 石井 孝良 技師
	② 同定検査	磐田市立総合病院 黒田 志保 技師
	③ 同定・薬剤感受性検査 1	静岡市立清水病院 池ヶ谷 佳寿子 技師
	④ 同定・薬剤感受性検査 2	中東遠総合医療センター 小柳 紀人 技師
	⑤ アンケート	藤枝市立総合病院 稗田 和美 技師
	⑥ まとめ	JA 静岡厚生連清水厚生病院 望月 佑輔 技師
	⑦ 講 評	静岡県立静岡がんセンター 感染症内科 医長 中屋 雄一郎 先生

輸 血	① ABO 血液型	浜松医科大学附属病院 榛葉 隆人 技師
	② RhD 血液型	静岡赤十字病院 古牧 宏啓 技師
	③ 不規則抗体	富士市立中央病院 池田 琢 技師
	④ 実態調査	聖隷沼津病院 牧田 佳奈古 技師
	⑤ 講 評	静岡赤十字病院 検査部 副部長 朝比奈 彩 先生
病 理	① 免疫染色サーベイ CD3	聖隷浜松病院 瀬崎 翔太 技師
	② 免疫染色サーベイ CD20	静岡県立こども病院 井上 卓 技師
	③ 免疫染色サーベイ CyclinD1	中東遠総合医療センター 平澤 侑也 技師
	④ アンケート	富士宮市立病院 滝 創紀 技師
	⑤ 講 評	浜松医療センター 病理診断科 医長 藤広 麻由 先生
総 評	静岡県臨床検査精度管理委員会 委員長	田内 一民 先生

備考

生涯教育： 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 生涯教育点数 基礎 20 点

※ 資料（精度管理調査報告書）につきましては、現地参加の方には当日配布いたします。
オンデマンド参加の方は静岡技ホームページに掲載いたしますので

令和 8 年度 日臨技中部圏支部研修会

「第 32 回 臨床微生物部門研修会」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部

実務担当技師会：愛知県臨床検査技師会

【テーマ】微生物検査をデザインするー最適な戦略立案と発信を考えるー

【日 時】令和 8 年 11 月 14 日（土）13：00～18：00、15 日（日）9：00～13：00

【場 所】J A あいちビル 14 階大会議室

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目 3 番 8 号

【定 員】70 名

【受講料】会員、賛助会員 5,000 円、非会員 7,000 円

【日 程】

《1 日目》 11 月 14 日（土）

12：30 受 付

13：00 開講式／オリエンテーション

13：10 講演 1 『見やすく人に伝わるスライドの作り方：各種微生物検査機器の特徴を伝える』

講師：朝日大学 歯学部 寄附講座 分子疫学・疾病制御分野 坂梨 大輔 先生

14：10 グループワークの進め方について

14：20 アイスブレイク（自己紹介）

14：40 グループワーク／発表スライド作成

17：45 片付け

18：00 解散

《2 日目》 11 月 15 日（日）

8：30 受 付

9：00 各グループの発表／フィードバック

11：00 休憩

11：10 特別講演：テーマ『俯瞰した視点で微生物検査業務を捉える』

特別講演 1 『内からの視点で考える、管理職が微生物検査に求める事』

講師：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 原 祐樹 先生

12：00 特別講演 2 『外からの視点で考える、管理職が微生物検査に求める事』

講師：J A 愛知厚生連安城更生病院 河内 誠 先生

12：30 閉講式

13：00 解散

【申込期間】令和 8 年 8 月 1 日～令和 8 年 10 月 15 日

【参加申し込み方法】

1. 日臨技会員の方

日臨技ホームページから、「会員専用ページ」にログインし、お申込みください。

2. 非会員の方

下記の 1)～7)を列記し研修会事務局までメールにて申し込みをして下さい

- 1)所属県名 2)漢字氏名(ふりがな) 3)施設名 4)所属部署 5)施設住所
6)電話番号 7)連絡メールアドレス

【アクセス】

会場には来場者用の駐車スペースはございません。

ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用いただきますようご協力をお願いいたします。

《名古屋駅から地下鉄をご利用の方》

- 地下鉄桜通線「名古屋駅」から徳重方面行きで約 5 分

「久屋大通駅」下車、4 番出口から徒歩約 1 分

※地下鉄東山線をご利用の場合は「栄駅」で下車し、1 番出口から徒歩約 6 分です。

《名古屋駅からタクシーをご利用の方》

- 名古屋駅桜通口（東口）タクシーのりばから約 10 分



※土曜・日曜日は、施設正面入り口は開放されていません。

伊勢町通りに面した時間外入り口からお入り下さい。

研修会事務局

〒485-8520 愛知県小牧市常普請 1-20

小牧市民病院 診療技術局 臨床検査科 西尾 美津留

Tel : 0568-76-4131 (内線 3110/PHS 5398) FAX : 0568-76-4145

Emai : komakihp240@gmail.com

令和8年度 日臨技中部圏支部研修会

「輸血研修会」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部

実務担当技師会：石川県臨床衛生検査技師会

後 援：(一社)日本輸血・細胞治療学会

【テーマ】伝わる、動かす、明日へつなぐ輸血教育 ～現場のリアルと、動機づけのヒント～

【日 時】令和8年12月5日(土)12時00分～ 6日(日)12時30分

【場 所】金大病院 CPD センター

石川県金沢市宝町13番1号 金沢大学附属病院 外来診療棟 4階

【定 員】60名

【受講料】8,000円(会員)、10,000円(非会員)

【日 程】

《1日目》 12月5日(土)

11:30 受 付

12:00 開講式／オリエンテーション 総合進行 国立病院機構金沢医療センター 谷口 容

【情報提供セミナー(飲食可能)】 座長 聖隷三方原病院 石戸谷 典明

12:10 検査法の特徴を知ろう！ ～ビーズカラム・ゲルカラム・キャプチャー法～

演者：ホリ・クリカル・ダイアグノスティクス、バイオ・ラット ラボラトリーズ、カリス、アイ・エル・ジャパン各学術部

【つなぐ卒前卒後教育】 座長 岐阜大学医学部附属病院 浅野 栄太

13:20 講演：『「ゼロから教える」はもったいない -卒前教育を知ると育成が変わる』

講師 藤田医科大学／藤田医科大学病院 松浦 秀哲

14:00 活動報告：『「教えっぱなし」にしない！自部署で育む臨床検査技師教育』

演者 富山大学附属病院 富山 隆介

【多職種連携と教育】 座長 国立病院機構三重中央医療センター 羽根 頼子

14:45 講演：『輸血実施の実際と多職種連携の輸血教育』

講師 富山大学附属病院 山本 由加里(臨床輸血看護師)

【学び続けるために】 座長 名古屋市立大学病院 南里 隆憲

15:35 ミニトーク：『度重なる部署異動で強くなった話』

演者 伊勢赤十字病院 谷口 彰

15:55 講演：『「輸血療法実践ガイド」を理解しよう』

講師 日本赤十字社 血液事業本部 奥田 誠

16:45 事務連絡/終了

《2日目》 12月6日（日）

8:30 受付

9:00 【グループワーク】

テーマ：『その問い合わせ、どう答える？』～みんなで考える輸血対応～

進行 地域医療機能推進機構 大和郡山病院 吉田 正明

12:25 閉講式

【申込み方法】 日臨技会員 日臨技 HP 内 JAMT 会員専用ページからの事前参加登録

日臨技非会員 下記研修会事務局にメールで連絡

会員専用ページでの登録が困難な場合は、下記研修会事務局にメールで連絡をお願いします。

【申込み期間】 2026 年 9 月 7 日～11 月 7 日

【受講料のお振込み】 日臨技会員 事前参加申込時にクレジットカード決済

日臨技非会員 下記研修会事務局へお問い合わせください。

【参加方法】 今回の研修は、現地開催のみとなります。直接会場までお越しください。

【宿泊】 参加者各自で手配をお願いします。

【その他】 1 日目の【情報提供セミナー（飲食可能）】は、食事の提供が規定により不可のため、ご用意は致しません。会場で昼食をとりたい方は、参加者各自でご持参ください。

JAMT HP より登録、受講料振込み確認後、開催 1 週間前を目途にメールで詳細連絡いたします。

研修会事務局

〒920-8650 石川県金沢市下石引町 1-1

国立病院機構金沢医療センター 臨床検査科 谷口 容

Tel : 076-262-4161（代表）

Email : yuketsu.ishiringi@gmail.com

2026 年 10～12 月の行事予定

2026 年

10 月

- | | | |
|----------------|--------------------|----------------|
| 16 日 (金) | 第 4 回理事会 | : 静臨技事務所 |
| 24 日 (土) | 検査と健康展 | : エスパルスドリームプラザ |
| 31 日 (土) | 第 64 回 中部圏支部医学検査学会 | : 長良川国際会議場 |
| ～ 11 月 1 日 (日) | | |

11 月

- | | | |
|------------|-----------------------|-----------------|
| 14 日 (土) | 第 2 回 生物化学分析部門研修会 | : Web |
| 14 日 (土) | 日臨技中部圏支部研修会 (臨床微生物部門) | : 愛知県 |
| ～ 15 日 (日) | | |
| 21 日 (土) | 第 2 回 臨床微生物部門研修会 | : 静岡県産業経済会館+Web |
| 22 日 (日) | 第 3 回 臨床生理部門研修会 | : 静岡県立総合病院 |
| 29 日 (日) | 減塩・低カロリープロジェクト 2026 | : 浜松市医師会館 |

12 月

- | | | |
|-----------|------------------------|-----------------|
| 5 日 (土) | 日臨技中部圏支部研修会 (輸血細胞治療部門) | : 石川県 |
| ～ 6 日 (日) | | |
| 8 日 (金) | 第 5 回理事会 | : 静臨技事務所 |
| 19 日 (土) | 第 3 回 輸血細胞治療部門研修会 | : 静岡労政会館 |
| 26 日 (土) | 静岡県臨床検査精度管理調査報告会 | : あざれあ+オンデマンド配信 |

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）高橋詩帆まで。E-mail : kensaka.kna@shizuokakouseiren.jp

☆ 求 人 情 報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目1番1号 静岡厚生連 遠州病院 外波山 幸稔まで。

E-mail : osigoto@samt.or.jp

TEL : 053-453-1111

情報変更の手続き等について

新入会登録や、会員情報・登録施設情報（名称・連絡先）に変更がある場合、日臨技へ申請をお願いします。（日臨技 HP ; 入会・退会・会員情報の変更参照）

責任者・連絡責任者・施設連絡用 E-mail アドレスを登録・変更する場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技 HP ; 各種申請書を参照）

静臨技賛助会員入会申請 や、賛助会員情報（担当者・連絡先）に変更がある場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技 HP ; 賛助会員のご紹介ページの賛助会員登録申請書を参照）

お問い合わせ先 : （一社）日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（担当：組織部）

TEL : 054-287-6337 FAX : 054-287-4113 E-mail : samt.jim@samt.or.jp

編集後記

皆さま、お疲れさまです。

只今、9月27日です。先週は台風25号、今週は26号が静岡県に接近すること。幸い伊豆では大きな被害はありませんでしたが、我が家のすぐ近くの川は濁流となり、中洲の葦がすべて倒れています。皆さまの地域は大丈夫だったでしょうか？警戒レベル4が発令された時には、「また猫3匹をケージに入れて避難所難民になるのか？」とヒヤヒヤしました。

今年の秋は長雨が続き、爽やかな秋晴れをあまり見ていない気がします。インフルエンザ流行の報道も聞かれるようになりました。寒暖差の大きいこの時期は体調も崩しやすく、我が家の5月生まれの金魚たちも、転覆気味の仔がいて、塩水浴をしたり水替えをしたりと右往左往しています。まあ、私は「食欲の秋」に翻弄されていますが……（笑）。

庭の山野草は、夏を越したり越せなかったり。そんな中でもシュウメイギクが咲き、ダイヤモンドソウやイワシャジンには蕾が見えてきました。手を掛けたものが枯れてしまったり、放置したものが元気に復活したり……植物を育てるのは本当に難しいと感じています。

昨日、今日と第75回日本医学検査学会が開催されました。皆さま、参加されましたか？多くの臨床検査技師が集まり、学び、知見を広げる大きな学会です。そして10月31日・11月1日には、岐阜市で中部圏支部医学検査学会が開催されます。

秋は「学びの秋」、そして「食欲の秋」「園芸の秋」……。皆さまも、それぞれの秋を楽しんでください。

（高橋）